

受講生「K.N」さん



Jetstar Japan 客室乗務員 合格(2019年 既卒) →のちに日本航空 客室乗務員へ転職

#### 【合格までの道のり】

客室乗務員の合格は31歳でした。

幼い頃からずっとずっと唯一、抱いた夢。

憧れて待ちに待った新卒時は皮肉にもご縁がなく、夢とは全く違う地方の事務仕事を10年間やりました。

諦めきれずに仕事と両立しながら既卒受験に何度か挑戦してきましたが、なかなか一人で合格までは出来ない日々が続きました。

それでもやっぱり、どうしてもなりたいという気持ちが増していく一方。

一人ではどうにも出来なくて、ついに上司にまで話したところ(笑)、紹介されたのがなんと古賀ゼミでした。

エアラインスクールは沢山あるので、どこに行こうかな、と自分でも調べていました。私の住む地域には無く、通うには仕事をしながら、飛行機に乗って都内まで通う必要があり、絶望。時間は都合良く合う訳もなかったので、お金も無駄にしてしまう、通うことも出来ない。

以前より古賀先生は地方各地のイベントなどにも積極的に呼ばれたりしていたので、私の上司もよく知るちょっとした有名人でした。

その信頼と、何より個別に対応してくれる事を知り即決で入塾。

時間も仕事の休みに合わせてくれて、猛スピードでレッスンが進みました。

複数社受験となると、エントリーシートや面接の準備が重なってしまったり、スケジュールはかなり大変でした。

何度エントリーシートを添削して貰っても不安で、1社で5回くらいは見ても貰い、時間がなくても、仕事終わりの深夜2時 (!! )でも、『添削終わりましたよ』『明日しっかり頑張る、大丈夫』とメールを返してくれました。

いつでも何時でも連絡がつく先生が居てくれる、というのは大変心強かったです。

何度もの面接練習やエントリーシート添削を通して、自分の強みや言いたいことが次第にはっきり明確になっていったことが、合格に繋がりました。

今までは半ばぶっつけ本番状態で緊張ガチガチだった面接でしたが、他の受講生の仲間と沢山練習を重ねた甲斐があり、自然とコツのようなものが自分の中で出来た手応えを実感。

本番でも緊張よりは、これは絶対聞いて貰いたい、伝えたいと思っていたことを話せるようになっていきました。

これまでの何度もの失敗からくる自信の無さが拭いきれず、自分の良いところなどわからなかった私でしたが、古賀ゼミでは先生達が沢山の強みを見つけってくれました。

私には何ともないと思っていたことこそが強みだったのです。

ネガティブなことも言い方一つでプラスに変えていくことも学びました。

ゼミが無い日は、自己分析や自己啓発本を読み漁り、英語の点数上げ、他の資格取得などをして、後悔がないように思い付いた出来る事は全てやりきりました。

また沢山の OB を産んだゼミですから、様々な夢の会社で働く先輩達に会う事が簡単でした。

直接話しを聞いた経験が、夢や憧れではなく“働く事”をイメージさせるようになりました。

合格した今では同じゼミの知った仲間と一緒に働く事が出来る喜びがあります。

ゼミの連絡網で先生が繋いでくださり、入社前の不安なども相談出来る環境があったことはゼミを卒業してからも改めて日々、古賀ゼミで良かった、思うことの一つです。

新卒時から自分では何だか意地になって固執して1社しか受けていませんでしたが、古賀ゼミに通うようになり、先生達と沢山話す中で、その1社に入りたいただけなのか、本当にCAになりたいのか、夢の本質をよく考えるようになりました。

私の夢は客室乗務員になって国際線を飛ぶこと。その夢は1社しか叶えられない訳ではなかったのです。企業研究も深くせず、国際線を飛ぶ夢が叶う会社がこれほど沢山あることすらも盲点だった私。

それからは夢が叶えられそうな会社を全部、くらい受験しました。

ご縁がない会社もありましたが、行動力やバイタリティが取り柄で、深く考え過ぎるのも苦手な私はとにかく、

“一番最初に夢を叶えてくれる会社“に決めようと思いました。

新卒時に夢が叶えられなかった時、一番最初にご縁があった前職に10年勤めましたが、今思い返しても数々のラッキーがあったからです。

一番最初のご縁にかけよう！とだけ潔く決めると、散らかっていた気持ちも片付いて、面接でもその意思をしっかりと伝えられるようになり、想いが通じたのかやっと合格を頂けました。

他にも選考を通してくれた会社が複数ありましたが、一番最初に私の夢を叶えてくれた会社が出来た訳ですから、悩むことなく決めました。

一人では勝ち取れなかったこの合格は、人生最大に、飛び上がる程嬉しかったです。学生時代の受験合格よりも、何よりも。

すぐに、今まで支えてくれた皆に早く伝えたいと思って、震える手で電話をしたり、メールも沢山送りました。

ずっと支えてきてくれた先生達、家族はもちろんですが、上司や友人、お世話になったあの人にも伝えたい、この人にも御礼を言いたい、と連絡していくと、やっと満足がいく頃には3日は経っていました。

合格こそが唯一、私に出来る恩返しですから、やっと実現して良かったです。

次は自分の乗務する便に、支えてくれた皆に乗ってもらい、これから少しずつですが恩返ししていきたいです。

先生、夢を叶えてくれてありがとう！